



特定非営利活動法人

ワーカーズコレクティブ 千葉県連合会

Tel&Fax 04-7134-0072



## 第 26 回 通常総会議案書

(月日) 2025 年 5 月 28 日 (水)

(時間) 15:00~17:00 (受付 14:40~)

(会場) 生活クラブ千葉本部 3F 会議室

昼食茶話会 12:30~13:20

研修会 13:20~14:30

## 総会式次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 書記任命
6. 資格審査
7. 議事審議
8. 閉会

## 審議事項

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 第1号議案 | 2024年度活動報告        |
| 第2号議案 | 2024年度決算報告 監査報告   |
| 第3号議案 | 2025年度活動方針（案）     |
| 第4号議案 | 2025年度予算（案）       |
| 第5号議案 | 2025年度役員（案）       |
| 第6号議案 | 第27回通常総会 表決者定数の決定 |
| 第7号議案 | 議案議決効力の発生         |

## はじめに

2024 年を振り返ると、世界情勢が不安定であることや、今までにない自然災害の発生、理由がはっきりしない米の不足、エネルギーや食糧品の物価高騰、それに伴う形で原材料費や人件費の高騰と、私たちワーカーズ・コレクティブが地域の必要に寄り添うことの事業をすすめてきた者にとっては、非常に厳しい経済的環境に直面しています。

また、私たちを取り巻くこれらの環境が厳しい中に加え、これまで事業を担ってきた人の高齢化も顕著に見えてきています。次世代へどのように引き継いでいくのが課題となっています。

そうした中で、今年度は、コロナ禍が明け2年目ですが停滞した人と人の交流する活動が活発になってきました。私たちの活動がコロナ禍以前に戻るには様々な要素から厳しい状況が続いていますが、少しずつ外に出ていく活動も取り戻してきています。ひとつの企画で人が集まると顔の見える関係性を築くことになります。このことによって、お互いさまの気持ちや相手の立場への配慮もできると改めて感じる年でもありました。

特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

理事長 熊澤聡子

## 第1号議案 2024年度の振り返り

### I. 目指したい方向性（点線囲いは、事業計画）※W.Co は、ワーカーズ・コレクティブの略記

第5次中計(2023年度～2025年度の3年間)の2年目、下記の項目で取り組みます。

- 1) 社会ニーズをとらえ、地域に必要な事業を興し、協同組合の街づくりに繋がります。
- 2) W.Co の内実を高め持続可能な経済的事業力と組織力の強化を図り W.Co の社会化を推進します。
- 3) 広報政策を戦略的に展開し、W.Co の社会化を後押しします。
- 4) 生活クラブ千葉グループおよび WNJ・協同組合陣営との連帯を積極的に進めます。
- 5) 提案力を高めて行政や地縁組織、民間企業、NPO 等との協働・連携を進めます。
- 6) 働く人の協同組合として、働く人の労働力が適正に評価される仕組みづくりを進めます。
- 7) 法制化と税と社会保障の一体化に向けて学習します。
- 8) 資金運用について学びます。
- 9) W.Co 千葉県連合会の連携共同事業を促進します。

2024年度は中期計画の2年目でした。

中期計画案に沿って、組織の在り方検討PJを設置して、中間支援組織としての連合会の意義や求める役割、これからの理事会運営について話し合いを持っています。連合会の歴史や意義を振り返りつつ、改めて、「ワーカーズ・コレクティブとは」「連合会とは」を考える機会となりました。意見交換を重ねる中で、各事業所や個々の責任や役割、運動推進・牽引への期待についての言及もあり、次期理事改選では、14ある全事業所から理事を選出し運営する形が採択され、それぞれが役割を持ち、全体で連合会組織を考えていきます。次年度は、全会一致の体制で中期計画を策定していくこととなります。

生活クラブ千葉(以下虹の街)との間では、昨年引き続き、ワーカーズ・コレクティブ(以下 W.Co)運動推進PJが開催され、全体会・分科会に分かれて具体的な事業を見据えて W.Co の価値と存在をどう打ち出し、どのように事業化していくのかを話し合ってきました。これは次年度に引き続いていきます。

以下、2024年度事業計画の個別、振り返りです。

### II. 事業計画

#### 1) 社会ニーズをとらえ、地域に必要な事業を興し、協同組合の街づくりに繋がります。

地域に主体的な働く場を創出し、共生型社会・地域参画社会に寄与し、社会連帯経済のモデル事業にします。既存事業所の事業拡大による社会ニーズに対応する新たな複合的サービスの創設を以下の方針案・具体策に沿って進めます。

## 1. 設立を目指したい事業

設立・運動推進会議を毎月開催し、居場所事業、生活支援サービス事業、就労支援(B型就労事業所)、コールセンター事業、ステーション事業、などの新設を目指し検討します。

## 2. 新たな分野の調査研究

昨年、虹の街との間で始まったワーコレ PJ や今年度に設置予定の事業別分科会等で協議と並行しながら、W.Co. の適正を生かせる地域密着型のサービスや機能などを調査します。

## 3. 設立の進め方

起業講座として、昨年からはじめた居場所交流会を継続します。東葛エリア だけでなく他のエリアでも交流会や相談会、学習会、ワークショップなどを開催し、ワーコレを広める活動を推進します。

## 1. 設立を目指したい事業

設立・運動推進会議を毎月開催し、居場所事業、生活支援サービス事業、就労支援(B型就労事業所)、コールセンター事業、ステーション事業、などの新設を目指し情報収集し、協議・検討しました。

会議:6月～3月迄計11回開催

メンバー:熊澤、鈴木、板倉、西村、北田、紺野柏・松戸センター事務局長、羽良事業部長

## 2. 新たな分野の調査研究

昨年、虹の街との間で始まった W.Co. 運動推進検討 PJ に参加して中間支援組織の設置、W.Co. を新たに生み出すための支援について協議しました。また、コールセンターやステーション事業、受託事業所との個別具体的な事業の創設に向けた検討を虹の街との PJ で進めたことで、連合会が事業別に分科会を設置するには至りませんでした。虹の街とは、PJ 会議を通じて課題を共有し、毎回の会議議事録や答申案の作成についても協議しながら、W.Co. の適正を生かせる地域密着型のサービスや機能などを調査、検討してきました。

## 3. 設立の進め方

2024 年 1 月～3 月にデポーおおたかの森で開催した居場所交流会の参加者に寄り添い伴走した結果、『食を通じて「自分らしく生きること」を、共に考え、共に学ぶ』ことを目的にした居場所「灯 ro」が 10 月に立ち上げました。11月30日には灯ro主催で「つばめカフェ」を開催し、嚙下についての講座を実施しています。また2月5日には、デポー新松戸で居場所交流会を開催しました。いずれの開催にあたって、虹の街からの広報協力があり、組合員に案内ができました。

次年度は、東葛エリアだけでなく他のエリアでも交流会や相談会、学習会、ワークショップなどを開催し、ワーコレを広める活動を推進していきます。



※写真 「つばめカフェ 嚙下(のみこみ)について考える」 11/30 開催の様子

主催 灯<sup>トモロウ</sup>ro : 流山在住の組合員 (言語聴覚士・介護支援相談員・管理栄養士)

後援 設立推進部会

## 2) W.Co の内実を高め、持続可能な経済的事業力と組織力の強化を図り W.Co の社会化を推進します。

W.Co が蓄積してきたスキルと実効性をさらにアップするために、経済の担い手としての価値の共有と経済的効果に繋がる研修などを行い、専門部を中心に事業と活動に繋げていきます。異業種の相互連携を進めます。

### 【事業推進計画】

#### 1. 専門性を持たせた事業力を強化します。

##### 食部会

- ① 今年度も料理講習会を開催します。パーティ料理など様々な発注に対応できるように、また開発中の半調理品を使ってみて、各事業所で使えるように研修します。
- ② インスタグラム・フェイスブック・ブログを使いこなしていけるように、研修を行います。
- ③ 「まほろば」が設立され、食部会とも連携していきます。
- ④ 美味しいお店見学会を行い事業の参考にします。

1, 9月23日に園生デポで調理実習をおこないました。パーティ料理やデザート、半調理品のミートボ

#### ① 9月23日に園生デポで調理実習をおこないました。

パーティ料理やデザート、半調理品のミートボール・じゃが芋を使い調理をおこないました。

実際に作ってみて、各事業所での工夫や応用できるメニューの発見もあり、調味料を入れるタイミングや火加減などがわかりました。

#### ② 今年度は研修ができませんでした

#### ③ 「まほろば」が食部会に加入しました。

#### ④ 6月28日神楽坂の「花かぐら」で食事をし、部会内での交流を図り、味付けや盛り付けの参考にもなりました。

会議: 毎月

参加事業所: 回転木馬・ハーブ・さくらいろ・ボナペディー・まどれーぬ・自然の食卓・

まほろば・菜の花・紙ふうせん

## 受託部会

- ① 生活クラブ虹の街の政策に協力しつつ、積極的な提案も行ないます。適時協議会を開催し、意思疎通を行っていきます。2024年度は新規受託事業としてコールセンターW.Coの実現に受けて活動します。
  - ② 受託W.Co.相互の異業種間の意思疎通を図ります。
  - ③ 実開催での他W.Co.、生産者等との交流を企画します。
  - ④ 労働者協同組合法対応について、結に続き各事業体で移行の検討を進めていきます。
- ① 虹の街とのW.Co.推進プロジェクトを通じて、政策的課題の洗い出しと共有を図りました。さらに2月、虹の街と受託4事業所の協議会を開きました。コールセンターについては設立準備のための具体的検討が2025年度に始まります。
  - ② 2月の虹の街との協議会を通じて、樹と結、みらい、あいの意思疎通が進みました。
  - ③ 7月、結主催の日本果実工業生産者交流を部会で呼びかけ、みらいと樹から参加しました。
  - ④ 結は昨年度内に、みらいは1月に移行、あいは4月に移行します。樹は現在移行に向けて内部討議中です。

会議:毎月      参加事業所:樹・結・みらい・あい

## みんなの福祉部会

昨年の12月、担当理事から辞任の申し出がありました。これを受けて、理事会・部会で話し合い、担当理事の復帰を待ちつつ、いつでも再開できるゆるやかな状態のままで維持して部会活動を休止します。

※なお、生活支援事業所連絡会・こども食堂連絡会は、これまで通り年4回開催し、情報の共有や学習会・視察研修会等を実施します。(生活支援事業所/紙ふうせん・ういず・回転木馬・わっふる、エコロコーディネーター/配送のあい、結、みらい回転木馬。こども食堂連絡会/ういず・回転木馬・風車・紙ふうせん)

みんなの福祉部会の活動としては、23年6月から11月までで、12月以降休止状態となっています。今年度は、生活支援事業所連絡会・こども食堂連絡会の中で、情報共有を進めてきました。次年度は、名称を福祉部会に変更し、生活支援事業・居場所事業所連絡会と合体して活動を再開します。

部会:今年度1回のみ      参加事業所:回転木馬・わっふる・ういず・紙ふうせん・葬祭さぽーとちば

生活支援事業所&居場所事業所連絡会:年3回(4月研修・6月・10月・2月)

参加事業所:回転木馬・わっふる・ういず・紙ふうせん、エコロCo みらい、あい、回転木馬

こども食堂事業所連絡会:6月      参加事業所:回転木馬・紙ふうせん・ういず

## 2. 「地域社会への関与」をエリア活動から発信し、W.Co 運動の社会化を推進します。

地域に密着し、地域の特性と人を熟知しながら活動を続けてきたワーコレの非営利市民事業の実績とコーディネート手腕が、街の高齢化で様々な問題を孕むコミュニティの課題解決に実践的に機能し力を発揮できることを自覚し、エリア活動を基本に据えて地域社会への関与を強め街づくりに繋げていきます。

### 東葛エリア

- ① エリア会議や事業所見学などをリアルで開催して、エリア内の事業所の活動を知る機会を作れるように努力します。
- ② 「キッチンカーで GO!」の活動を続けて行きます。実施する時には東葛エリアの生活クラブ虹の街組合員や他団体などと話し合いながら一緒に計画出来るように考え、ワーコレ活動への理解 を深められるようにします。  
地域への情宣ができるようにチラシなどの作成をします。  
エリアの事業所に活動の大切さを理解して貰えるように、話し合いをして行きます。
- ③ ワーコレカフェについては、意見交換をしながら検討して行きます。

- ① 会議も事業所見学もリアルで開催できませんでした。
- ② 3/8、デポー松葉町のマルシェに参加して、キッチンカーで GO！子ども食堂を開催しました(下記写真)。柏ブロックの虹の街組合員に協力を得てフードパントリーも開催しています。併せて、各事業所が惣菜・お弁当・コーヒーと焼き菓子手作り小物の販売をしながらチラシを配布し、ワーコレの活動を知っていただく機会を作りました。
- ③ 「キッチンカーで GO!」の終了後、ワーコレカフェをデポー2F の組合員室で開催し、コロナでこれまでなかなか顔を合わせることができなかった各事業所とも交流することができました。

会議: 毎月

参加事業所: 樹(新松戸・松葉・大津ヶ丘・おおたかの森)、みらい、あい、紙ふうせん、菜の花、COS、まほろば、ういず、自然の食卓



### 京葉エリア

- ① 組合員に向けてワークーズの働き方の周知活動を行います。
- ② 地域にワーコレを広め、運動への共感が広がるように地域イベントに参加していきます。



- ① チラシの活用では、今までの事業所案内や写真を更新し、QRコードを入れるなど見てわかりやすく、問い合わせが出来るように直しました。千葉グループ地域交流会（湾岸、千葉、県南）、虹フェス、ぽっぽの市で活用しました。

虹フェスではチラシを置くだけではなく、持ち出して試食をしている組合員に直接伝えていきました。

見るものがあると周知しやすく、問い合わせ先があるのは有効に使えると思いました。

・はたらこカフェの開催をぽっぽの市での情報を活かしてきれていないことから、興味をもった方にはたらこカフェで話し合えるように、開催をぽっぽの市とセットにすることを組み立てました。

- ② 稲毛で開催されている「ぽっぽの市」に参加しました(4/21(日)、11/17(日))。

イベントや販売、飲食店がある中でいかに興味を持ってもらうか、ワーコレを

伝えることができるかを課題に4月はゲーム企画(お菓子すくい)をすること

で人は呼べましたが、話をするまでには手が回らないことが分かり、11月は

ワーカーズクイズで周知していき、お菓子すくいも合わせて行ったことで呼び

こみと滞在時間の確保ができたため、スムーズに話しをしていくことができました。

・千葉グループ地域交流会に各事業所からの参加をすすめていったことで、事業所の顔が見える交流がもてました。



会議:4回/年

参加事業所:結・樹・まどれ一ぬ・わっふる

## 下総エリア

- ① 働きやすい環境づくり(勤務時間、職種)を考える。
- ② 地域の人たちの居場所づくりに参加し、子ども食堂、地域食堂を開催します。事業所の活動を通して組合員との交流を進めます。
- ③ 災害はいつ起こるかわからない」ということを忘れることなく、もしもの時に備えて、拠点となれるよう情報を発信し続ける活動を進めます。

- ① 「扶養内で働きたい」「小さい子供がいる」などそれぞれの生活環境を考慮して仕事をシェアしながらシフトを決めています。

- ② 居場所づくりを焦ると警戒されてなかなか地域に溶け込むことが難しかった。子ども食堂を地域の人たちの協力も得て広めることができた。木刈の縁側も地域の人たちに広がってきています。

- ③ 3/1(土)「災害はいつ起こるかわからない」、もしもの時に備えて、拠点となれるよう情報を発信し続ける活動として炊き出し訓練とビニール袋クッキングのデモンストレーションを回転木馬で開催しました。開催に於いては、近隣にチラシを撒き、地域の住人の参加を募りました。

会議:年4回

参加事業所:回転木馬・ハーブ・結・樹



3) 広報政策を戦略的に捉えて展開し、W.Co. の社会化を後押しします。

新たな広報政策を模索し、W.C.を広めていきます。

1. 連合会機関紙「わくわ〜く」を虹の街組合員と作ることを継続していきます。新たな編集委員の募集方法を検討し、W.Co を知ってもらう機会を増やします。123 号労働者協同組合法特集、124 号エコロ、生活支援ワーカーズ
2. HP の管理・更新作業を随時行ないます。各エリアでの活動など情報の閲覧ができるようにします。
3. SNS の基礎から活用まで、各事業所が参加できる学習の機会を検討します。

1. 毎月編集会議を開催しました。123 号は予定されていた労働者協同組合法の特集ではなく、エッコロ、生活支援ワーカーズの特集(紙ふうせん、ういず、わっふる、回転木馬)に差し替えました。124 号は、各エリアで開催されたワーコレを広める活動の特集、灯 ro の設立に至る交流会を発行しました。

新たな広報政策については課題となっています。

2. HPについて随時更新し、わくわ〜く、東葛エリアでのワーコレマルシェやキッチンカーでGO、下総エリアでの災害支援のイベント情報についても閲覧ができます。

3. Instagram などの SNS について学習会開催ができませんでした。

會議：每月

メンバー:五十嵐・熊澤・北田・組合員編集委員

[illegible]

＜解説＞ ワーケーション・コンクディアとは、地域住民に良い影響を齎（もたら）すことで、人々の生活の質を向上させることにある。

簡単に言えば、地元の人々が「仕事や観光で訪れた地域に滞在し、その土地の文化や歴史を体験し、その土地の魅力を発見し、その魅力を他の地域に伝えること」である。

work **in 14**

# わくわく

## ちば

ワーケーション・コンクディアとは、地元の人々が「仕事や観光で訪れた地域に滞在し、その土地の文化や歴史を体験し、その土地の魅力を発見し、その魅力を他の地域に伝えること」である。

2023. 4. 10

何をするかは自由

自分だけの時間を過ごす

自由に活動できる

仕事や観光で訪れた地域に滞在し、その土地の文化や歴史を体験し、その土地の魅力を発見し、その魅力を他の地域に伝えること

自由に活動できる

仕事や観光で訪れた地域に滞在し、その土地の文化や歴史を体験し、その土地の魅力を発見し、その魅力を他の地域に伝えること

自由に活動できる

仕事や観光で訪れた地域に滞在し、その土地の文化や歴史を体験し、その土地の魅力を発見し、その魅力を他の地域に伝えること

#### 4) 生活クラブ千葉グループ、WNJ、協同組合陣営との連携を進めます。

1. 「生活クラブ千葉グループ」は、生活クラブ生協を軸に食の安全、環境保全、子育て、地域福祉などの活動と事業から、当事者である一人ひとりが担い手となり、地域に多様な資源とネットワークを生み出すことを目的に活動していますが、コミュニティの持続可能な発展に資するには、グループや事業所が垣根を越えてこれまで以上に連携協力関係を深めていくことが必要となります。2024 年度からは、県内5つの地域に地域協議会を設置し、生活クラブ千葉グループ団体の各事業所が参加しますので W.Co. の各事業所も積極的に参加し、エリア理事も参加します。秋の交流会はワーコレ間の事業連携でオードブル等のパーティ料理の提供をします。

2. WNJ と連携して法制化運動や社会課題に取り組みます。

・各種委員会に参加します

・研修会等への参加を後押しします

3. 協同組合陣営との連携を深め、相互研修や、活動交流に参加していきます。

1. 今年度より、生活クラブグループ地域協議会が始まり、県北西・千葉・湾岸・印旛・県南に分かれそれぞれエリア担当理事と事業所が参加しました。11 月 24 日の生活クラブ千葉グループ交流会では、各地域協議会の報告が行なわれ、またグループ団体として W.Co. 連合会も活動の報告を発表しました。この交流会でのオードブルの提供は、事業連携の形ではなく開催場所に近い W.Co. 樹が担当しました。
2. 毎月開催されている WNJ 運営委員会に参加しています。今年度は、価値と原則の見直し PJ に千葉を代表して井上理事が出席し、労働者協同組合連合会設立に向けた検討チームにすでに労働者協同組合に移行した W.Co. 結(労協)、生活クラブと受託関係にある事業所は生活クラブとのパートナーシップに向けた政策立案に向けたアンケートの協力など、様々な活動に参加しました。また、2 年に 1 回開催されている WNJ 全国会議から全国大会へ名称変更し、2025 年度開催(2025 年 11 月 29、30 日東京開催)に向けて実行委員会に参加しています。また、食の共同事業会議、食の連携連絡会、配送受託会議、福祉事業会議とそれぞれの会議に参加しました。
3. ・ちば社会的連帯経済研究所研究誌編集委員として 10 号、11 号の編集会議、つながる経済フォーラムちば実行委員として五十嵐理事が参加しました。7 月 25 日、第 6 回つながる経済フォーラムちばが千葉市美術館で開催され、リレートークに W.Co. わっふるの長柄香衣さんが登壇しました。  
 ・11 月 21 日、東京ワーカーズ・WNJ 主催の被災地見学に小澤理事・鈴木理事が参加しました。  
 ・10 月 2～5 日、生活クラブ千葉グループでの韓国訪問に鈴木理事・五十嵐理事が参加し、原州協同社会ネットワークやパルグム信用協同組合、江原医療福祉社会的協同組合などの社会的協同組合やハンサリム連合会を見学しています。

## 5) 提案力を高めて行政や地縁組織、民間企業、NPO 等とも協働・連携を進めます。

1. 生活クラブ生協千葉やWNJ、協同労働の協同組合ネットワークちば、関東事業団（労協）との連携を深め、意見交換をしながら提案力を高めて行政への提言を行い千葉県域での法制化を推進します。
2. 行政との協働事業や補助金事業も視野に、情報の収集と受け皿の準備を進めます。
3. 持続可能な地域社会の実現に向けて、民間企業、NPO 等との事業連携を検討します。

1. 協同労働の協同組合ネットワークちばへの会議に参加し、千葉県内での労働者協同組合設立状況の把握をしながら意見交換や協力できる関係を築いています。
2. 柏市社会的養護自立支援拠点事業について、柏市の事前相談会に風の村というずが参加しています。設立推進部会にも、情報を投げて、行政との協働事業の可能性を視野に情報を共有しています。
3. 民間企業や NPO 等との事業連携には至っていません。

## 6) 働く人の協同組合として労働が適正に評価される仕組みづくりに取り組みます。

1. 労働力が適正に評価される仕組みづくりを進めるために、プログラム評価制度について学び、目的やゴールを明確にして、労働力の適正評価の仕組みづくりを進めます。
2. 事業の結果や成果を可視化し、W.Co の働き方の優位性や特異性が実感できる講座や研修会を開催します。
3. 連合会託児システムを「共に働く」の連合会支援の一つに位置付けて新たな形を再考していきます。
4. 「共に働く」を考えていきます

1. 労働力の適正評価の必要性を感じつつ、いまだ着手には至っていません。
2. デポー新松戸で2月に開催した居場所交流会では、東葛エリアの各事業所が、事業所の説明をする中で地域で長年活動してきた成果を可視化し、W.Co の働き方の優位性や特異性を示す機会を持つことができ研修にもなりました。
3. 託児システムについて再考できていません。
4. 組織の在り方検討プロジェクトの中で「共に働く」の意義を捉えました。

## 7) 労働者協同組合法と税と社会保障の一体化に向けて学習します。

労働者協同組合への組織変更期間満了までに、受託部会を中心に移行について理解を進めていきます。

結につづいて みが 2025 年 1 月に企業組合から労働者協同組合に移行しました。

2025 年 4 月には、あしも移行の予定です。

## 8) 資金運用について学びます。

- ・人・モノ・金の実質的な支援の仕組みづくりの一つとしてクラウドファンディングについて学び合います。
- ・生活クラブ共済連のつながりづくり助成への応募を検討しながら、新たな企業支援策を設立推進部部会と共に模索し、居場所や新たな生活支援サービスの創設を目指します。

- ・居場所交流会は、新たな起業支援策として、人材の発掘に期待が持てます。
- ・こども食堂等への食支援・・・モノ＝寄付食材の循環と、多世代が食でつながる居場所づくりの県内プラットフォームづくりを、ういず、紙ふうせん、回転木馬が連携・協働する動きを作っています。
- ・「灯 ro」(設立 10 月)が、4 月から居場所事業を開始するに際して、つながりづくり助成の応募をサポートしました。

## Ⅲ. 組織運営

- 1) 理事会体制を維持します
  - ・組織運営についてあらためて学習会を開催します。
  - ・理事会・事務局体制についてプロジェクトで話し合っていきます。
  - ・エリアは東葛・京葉・下総として地域にワーコレを広める活動を推進します。
  - ・専門部会は、食部会・受託部会・みんなの福祉部会・広報部・設立運動推進部会とし、それぞれの活動を行います。
  - ・広報部の中にわくわ〜くの編集会議を置きます。
  - ・設立支援部会は、設立推進計画と労働者協同組合法を推進する部として、新たなW.Coの立ち上げや労働者組合法の法人各取得について推進します。
- 2) 役員体制を理事長 1 名、副理事長 2 名を継続します。  
前年度より副理事長2名は専門部理事を兼任します。
- 3) 理事研修を企画実施します。

- 1) 中期計画に基づき、2025 年からの理事会体制について、組織の在り方検討 PJ を設置して話し合いました。

プロジェクト期間 6 月～12 月全 6 回。

メンバー理事及び事業所の代表（ハーブ・回転木馬）も参加しました。

第 1 回 7/24 課題の洗い出し 理事・事務局の役割と責任 アンケート結果

第 2 回 8/21 2012 年新体制への変革～連絡会から連合会へ 背景・経緯と成果

第 3 回 9/25 ハラスメント研修（講師：独立行政法人 労働者健康安全機構 千葉産業保健総合支援セ

ンターメンタルヘルス対策促進員・両立支援促進員公認心理師・産業カウンセラー近藤健義氏)

(ハラスメント研修は、各事業所にも呼びかけ、結、みらい、樹から個人参加もありました。)

第 4 回 10/23 変わりあう組織にするために① 連合会の目的 理事会とは

第 5 回 11/20 変わりあう組織にするために② 具体案 素案の提示

・PJ では自分たちの負担軽減のためでなく、ワーコレ運動を未来に繋げていくための改善案であるべきとし、現状を客観的かつ真摯に受け止めつつ運動を一步前に進めるために提案しています。変わりあう組織となることで、若手の台頭を促し、エリアや部会が自由闊達な活動が促進されるように願っています。

2) 理事長 1 名、副理事長 2 名。副理事長は、専門部会(食部と広報部それぞれを)兼任しました。

3) 理事研修については、企画内容を検討しました。実施は 5 月の総会時としました。

#### IV. 事務局計画

- 1) 事務局体制を拡充し連合会の中間支援機能を高めていきます。
- 2) 事務局に、ワーコレ相談窓口を置いて、各種相談を受付けます。
- 3) 設立運動推進部の事務局として、ワーコレを広める活動や、交流会・視察研修会・起業講座等の企画運営や講師の派遣等のマネージメント業務を行います。
- 4) 福祉事業(エコロ委託事業・託児制度)の業務を遂行します。
- 5) 共同購買事業の業務を遂行します。

1) コロナが落ち着き、活動が活発になってきたこともあり、また虹の街との中間支援組織検討 PJ と連動して連合会の中間支援機能を高める為の環境が整いつつあります。

2) 昨年より居場所を立ち上げたいという方への相談に応じて、交流会の開催や各種講座をご案内してきました。交流会の参加者方、実際に居場所の開設に至り、「灯 ro」11 月 30 日にはつばめカフェを開催することができ、生活クラブ福祉事業基金の「つながりづくり助成」への応募をサポートしました。

尚、その後に発生したメンバーの諸事情により 1 月に申請を取り下げています。

3) 設立運動推進部の事務局として、交流会・ハラスメント研修会等の企画運営や講師のマネージメントを行いました。

4) 2024 年 7 月にエコロ制度の改定がありました。それに先立ち、事前に説明会を虹の街と連合会で聞き取りと説明会を開催しています。事後にも、改正後の状況を聞き取っています。報告は、虹の街・街ネットと W.Co の 3 者によるエコロ協議会(年 3~4 回)で共有されています。

- ・生活支援事業所連絡会・居場所事業所連絡会で年3～4回を目途に会議を開催しています。
  - ・4月にエコロ委託のたすけあいワーカーズを対象に、お片付けの研修(講師:わっふる飯沼)とまほろばの厨房を借りて、食事作りの研修(生活支援事業所 わっふる・ういず・紙ふうせん・回転木馬が参加)を開催しました。
  - ・こども食堂等の助成金情報(ニッセイ・キューピー・千葉県)や研修学習会講演会(食でつながるフェスタ in ちば)の開催情報を配信しました。
- 5) 共同購買事業を継続していくためには、購買事業者数を増やすことや、事業者の利用のしやすさなどまだまだ課題がありますので、課題を分析しやすいよう整えています。

## V. 経営計画

会費収入と会費制度について見直しを行います。理事手当や活動費について規約を整えます。

### 1) 会費収入

1. 会費収入を高めます。
- 2.. 既存事業の事業拡大と健全経営を支援することで分配率を高め会費収入を高めます。

### 2) 事業収入

共同購買の利用を促進し事業収入を高めます。

### 3) 会計

NPO法人の会計基準を遵守します。

### 1) 今年度、まほろばが加入し、食部会に所属しました。

まほろばの加入で 共同購買事業の結集が少し高まりました。

### 2) 共同購買の利用促進に努めました

### 3) インボイスについて、検討はしてきましたが、連合会としてはまだ導入までには至っていません。

インボイスの登録申請をするには、消費税負担をどこにどのように転嫁するのも考えなくてはなりません。次期中期計画のなかで会費や手数料を含め収支についての検討をしていくことが必要で課題と捉えています。

【2024年度決算報告】

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

2020年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	4,930,907	【流動負債】	
現金	36,754	未払金	697,968
普通預金	4,631,570	未払法人税等	70,000
立替金	0	預り金	5,000
未収入金	262,583	仮受金	
		負債の部合計	772,968
【固定資産】			
【無形固定資産】	76,440	資本の部	
電話加入権	76,440	【剰余金】	4,234,379
		当期末処分利益	4,234,379
		(うち当期純損益)	
		資本の部合計	4,234,379
資産の部合計	5,007,347	負債・資本合計	5,007,347





# 損益計算書

特定非営利活動法人ワークスコレティブ千葉県連合会

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

(単位:円)

経常損益の部			
【営業損益の部】			
【営業収益】			
【売上高】			
会 費 収 入	4,654,826		
社会的地位確立事業収入 (教育研修)	0		
(福祉)	283,898		
設立推進事業収入 (設立推進)	3,000		
物資の調査・支援事業収入 (共同購買)	2,916,531		
その他付帯事業収入 (活動推進)	10,492		
売 上 高 合 計		7,868,747	
【営業費用】			
【売上原価】			
社会的地位確立事業費 (教育研修)	3,240		
(福祉)	51,582		
(広報)	137,332		
設立推進事業費 (設立推進)	28,456		
物資の調査・支援事業費 (共同購買)	2,179,879		
その他付帯事業費 (活動推進)	86,622		
(事業人件費)	546,852		
合 計	3,033,963		
売 上 原 価		3,033,963	
売 上 総 利 益		4,834,784	
【販売費及び一般管理費】			
一般管理費合計		4,470,228	
営 業 利 益 (損 失)		364,556	
【営業外損益の部】			
【営業外収益】			
受 取 利 息	1,525		
雑 収 入	0		
営 業 外 収 益 合 計	1,525	1,525	
【営業外費用】			
雑 損 失	0		
営 業 外 費 用 合 計		0	
経 常 利 益 (損 失)		366,081	
税 引 前 当 期 利 益 (損 失)		366,081	
当 期 利 益 (損 失)		366,081	
前 期 繰 越 損 益		3,868,298	
当 期 未 処 分 利 益		4,234,379	



## 一般管理費内訳書

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日 (単位:円)

役員報酬	1,380,000
給料手当	0
事務委託費	2,160,000
総会費用	35,265
福利厚生費	0
研修費	0
会議費	28,149
事務局交通費	0
通信費	116,446
法定福利費	106,055
事務用品費	144,809
教育文化費	22,000
関係団体負担金	120,000
支払手数料	11,080
保険料	0
賃借料	251,424
交際費	25,000
租税公課	70,000
販売費及び一般管理費合計	4,470,228



## 【財産目録】

特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

2025年3月31日現在(単位:円)

科 目	摘 要	金 額	
[現金・預金]			4,668,324
現金		36,754	
普通預金		3,232,550	
郵便貯金		1,399,020	
[他流動資産]			262,583
立替金		0	
未収入金	共同購買事業収入 3月分	229,006	
	共同購買代金未収入金	14,748	
	福祉事業収入 エッコロ収支差額 3月分	18,829	
[無形固定資産]			76,440
電話加入権		76,440	
資産合計			5,007,347
[他流動負債]			772,968
未払金	共同購買事業費 (配送料 3月分)	114,800	
	共同購買事業費 (事務委託費 3月分)	60,000	
	エコロ2月分	184,363	
	事業人件費(理事活動費、部会・エリア交通費3月分)	40,000	
	役員報酬	110,000	
	事務委託費	180,000	
	法定福利費 (社会保険料3月分)	8,805	
	事務用品費		
未払い法人税等		70,000	
預り金		5,000	
仮受金			
負債合計			772,968
正味財産			4,234,379

## 益 金 処 理 案

(単位 : 円)

【当期未処分利益】	4,234,379
【次期繰越金】	4,234,379

上記の通りご報告申し上げます。

2025年4月30日

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会  
理事長 熊澤聡子





## 2024年度 監査報告

定款に基づき2024年度の監査を実施いたしましたので報告いたします。

監査基準日 2024年4月1日～2025年3月31日

### 1. 監査の実施日 及び 場所

2025年 5月 1日

生活クラブ柏センター 2階 会議室

立会人 熊澤 聡子 理事長  
鈴木二味子 副理事長  
北田 恵子 事務局長

### 2. 監査の方法

2024年4月1日から2025年3月31日までの収支報告書及び理事会議事録等関係資料、業務施行状況について監査を実施しました。

### 3. 監査結果

- ・収支計算書、会計記録は正確に作成されており、団体の収支および財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・定例の理事会に合わせて、組織のあり方プロジェクトを開催し、ハラスメント研修や今後の連合会運営について、協議されていたことを確認しました。

### 4. 監査意見

- ・組織のあり方プロジェクトでの協議の結果、次年度は各事業所から理事を選出することを、代表者会議に提案し、合意に至りました。新規体制での連合会運営について期待します。
- ・地域の中で活動している団体への協力を、連合会として今後も広げるとともに、地域に根差した新たなワークーズの設立に向けた活動を期待します。

2025年 5月 1日

監事 羽良 良秀

監事 槇 啓巳子



## 2025年度予算案

科目			2025年度予算	備考
会費収入	正会員会費		4,000,000	
	賛助会員会費		680,000	
合計			4,680,000	
事業収入	共同購買事業		3,000,000	
	活動推進事業	連携事業	30,000	コーディネート事業・講師料・売り上げ他
	設立推進事業		6,000	起業講座、各種学習会
	福祉事業		120,000	エココロ管理費・研修費
	教育研修事業		4,000	ガイドブック売上等
合計			3,160,000	
収入合計			7,840,000	
事業経費	事業人件費		820,000	理事12名、WNU部会2名活動費、交通費
	共同購買事業	配送料	1,500,000	配送委託費
		事務委託費	720,000	共同購買事業委託費(システム・発注・事故対応)60000/月 食の共同事業会議
		その他	24,000	郵送料・振込手数料
		合計	2,244,000	
	活動推進事業	連携事業	30,000	会場費・備品購入・広告宣伝費・保険料等
		エリア活動費	60,000	東葛・京葉・下総 2万×3
		部会活動費	120,000	食・受託・福祉・運動・設立・企画 2万×6
		対外活動費	120,000	全国大会・交流会参加費3500円×2×14団体・被災地支援交通費補助
		合計	330,000	
	設立推進事業	講座事業経費	20,000	新規事業立ち上げ支援費
	福祉事業費	エココロ	10,000	コーディネーター会議・交通費
	教育研修事業		20,000	SNS、食部、福祉等、研修会学習会の講師謝金補填
	広報		300,000	広報印刷費・編集委員活動費、交通費、機関紙送料
合計			3,744,000	
管理費	人件費	役員報酬	1,020,000	6月より理事長5万円 副理事長1名3万円
	諸経費	事務委託費	2,160,000	18万円×12ヶ月(通勤交通費含む)
		賃借料	250,000	
		通信費	120,000	
		事務用品費	120,000	事務文具 備品PC関係
		総会費用	35,000	議案書費用、会場費他
		関係団体負担金	120,000	WNU、NPOクラブ、アーシアン、市民セクター、せっけんの街、JFSA、ユニバーサル就労ネットワーク千葉
		法定福利費	107,000	社会保険料
		会議費	30,000	資料印刷代、会場費、ZOOM,google使用料金
		教育文化費	24,000	社会運動購読料、冊子購入
		福利厚生費	15,000	慶弔費
		支払手数料	15,000	振込手数料
		交際費	10,000	
		租税公課	70,000	市県民税
		管理費合計		
経費合計			7,840,000	
2025年度単年度収支			0	

## 2025 年度 役員(理事・監事)の交代について(案)

今年度は理事・監事の改選期でしたので、定款 13 条、14 条に基づいて、理事及び監事の選出業務を選考委員(五十嵐紀子・井上千栄子)で執り行い、選出と発足役員候補者名簿を作成しております。

	候補者氏名	所属
理事	熊澤聡子	葬祭さぼーと千葉
理事	板倉 正	わかーず・あい(労)
理事	大久保千穂	(企)ワーカーズ・コレクティブ菜の花
理事	鈴木二味子	(企)ワーカーズ・コレクティブ紙ふうせん
理事	柴山温行	ワーカーズ・コレクティブ自然の食卓
理事	小澤仁美	ワーカーズ・コレクティブ結(労)
理事	北田悠氣	一般社団法人まほろば
理事	矢野江美	(企)ワーカーズ・コレクティブ樹
理事	重 純子	(企)ワーカーズ・コレクティブ回転木馬
理事	藤井美江	(労)みらい
理事	花田恵子	(企)ワーカーズ・コレクティブまどれーぬ
理事	田中香麗	(企)ワーカーズ・コレクティブハーブ
理事	北田恵子	COS(コミュニティ・オーガナイズング・スタジオ)
	以上13名	

	候補者氏名	所属
外部監事	伊藤智弘	生活クラブ虹の街
内部監事	西村憲子	NPO 法人ワーカーズコレクティブういず
	2名	

尚、任期は定款 16 条に基づき 2025 年総会後から 2027 年の総会までの2年間となります。

**第6号議案**

**第27回通常総会 表決者定数の決定**

2026 年度の定数は、2027 年 3 月末日の正会員数とします。

**第7号議案**

**議員議決効力の発生**

各号の議決の本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任します。

